

第1章 再整備にあたっての基本的な考え方

※下線部が変更部分

改定案	現 行
<p>1－1. 再整備の背景 (略) 整備から<u>40年</u>以上が経過した現在も、水泳やスケートの幅広い競技者や、多くの市民の皆様にご利用いただいている。</p>	<p>1－1. 再整備の背景 (略) 整備から<u>40年</u>が経過した現在も、水泳やスケートの幅広い競技者や、多くの市民の皆様にご利用いただいている。</p>
<p>1－2. 関連計画との整合 基本計画の策定にあたっては、<u>まちの理念や価値観を示した「神戸市基本構想」</u>（令和8年4月施行）、10年後の都市像やその実現に向けた方向性を示した「第6次神戸市基本計画」（令和8年4月施行）、これらを実現するための実施計画である「神戸2030ビジョン」（令和8年4月施行）、スポーツ基本法に基づく地方スポーツ推進計画である「神戸市スポーツ推進計画」（令和元～10年度）等の関連計画との整合を図る。</p> <p>※参考として記載している計画概要も変更</p>	<p>1－2. 関連計画との整合 基本計画の策定にあたっては、<u>令和7年度までの神戸の都市像、まちづくりの方向性を示した「新・神戸市基本構想」</u>（平成5年策定）、<u>「神戸づくりの指針」</u>（平成23年策定）、これらを実現するための実施計画であり、<u>地方版総合戦略としての位置づけを有する「神戸2025ビジョン」</u>（令和3～7年度）、スポーツ基本法に基づく地方スポーツ推進計画である「神戸市スポーツ推進計画」（令和元～10年度）等の関連計画との整合を図る。</p>
<p>1－3. 現施設の現状と課題 (2)施設の利用状況と課題 ①プールの利用状況と課題 メインプール（50mプール・8レーン） ・利用人数：<u>48,780人</u>（令和6年度） 大会利用：<u>37,448人</u> 専用利用：<u>6,890人</u> 一般利用：<u>2,919人</u> 教室利用：<u>1,523人</u> ・レーン数が8レーンしかなく、日本水泳連盟の<u>国内プールAA</u>の基準を満たさない。</p>	<p>1－3. 現施設の現状と課題 (2)施設の利用状況と課題 ①プールの利用状況と課題 メインプール（50mプール・8レーン） ・利用人数：<u>54,863人</u>（R元年度） 大会利用：<u>41,450人</u> 専用利用：<u>9,814人</u> 一般利用：<u>2,545人</u> 教室利用：<u>1,054人</u> ・レーン数が8レーンしかなく、日本水泳連盟の<u>国内一般プール・AA</u>の基準を満たさない。</p>

改定案	現 行																
<p>サブプール（飛込プール）</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用人数：<u>40,089</u>人（<u>令和6年度</u>） 大会利用：<u>38,971</u>人 専用利用：<u>1,118</u>人 メインプールで開催される大会のサブプールとしての利用が大半である。飛込競技の利用（大会・練習）は、平成18年度の兵庫国体以降は数回<u>しかない</u>。 	<p>サブプール（飛込プール）</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用人数：<u>42,515</u>人（<u>R元年度</u>） 大会利用：<u>41,315</u>人 専用利用：<u>1,200</u>人 メインプールで開催される大会のサブプールとしての利用が大半である。飛込競技の利用（大会・練習）は、平成18年度の兵庫国体以降は<u>数回しかなく、特に、平成27年度から令和2年度の間はない</u>。 																
<p>25mプール（通年プール・5レーン）</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用人数：<u>72,690</u>人（<u>令和6年度</u>） 大会利用：<u>23,694</u>人 専用利用：<u>3,268</u>人 一般利用：<u>18,218</u>人 教室利用：<u>27,510</u>人 	<p>25mプール（通年プール・5レーン）</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用人数：<u>71,712</u>人（<u>R元年度</u>） 大会利用：<u>18,717</u>人 専用利用：<u>4,924</u>人 一般利用：<u>16,757</u>人 教室利用：<u>31,314</u>人 																
<p>②スケートリンクの利用状況と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用人数：<u>53,060</u>人（<u>令和6年度</u>） 大会利用：<u>2,546</u>人 専用利用：<u>13,875</u>人 一般利用：<u>33,993</u>人 教室利用：<u>2,646</u>人 	<p>②スケートリンクの利用状況と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用人数：<u>71,873</u>人（<u>H30年度</u>） 大会利用：<u>1,576</u>人 専用利用：<u>21,240</u>人 一般利用：<u>43,636</u>人 教室利用：<u>5,421</u>人 																
<p>【専用利用の内訳（<u>令和6年度</u>）】</p> <table> <tbody> <tr> <td>フィギュア</td> <td>：<u>7,815</u>人</td> </tr> <tr> <td>ショートトラック</td> <td>：<u>1,770</u>人</td> </tr> <tr> <td>アイスホッケー</td> <td>：<u>4,140</u>人</td> </tr> <tr> <td>カーリング</td> <td>：<u>150</u>人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・一般利用は関西圏のプール・スケート兼用施設の中で最も多く、1日で<u>1,300</u>人以上が利用する日もある。</p>	フィギュア	： <u>7,815</u> 人	ショートトラック	： <u>1,770</u> 人	アイスホッケー	： <u>4,140</u> 人	カーリング	： <u>150</u> 人	<p>【専用利用の内訳（<u>H30年度</u>）】</p> <table> <tbody> <tr> <td>フィギュア</td> <td>：<u>12,900</u>人</td> </tr> <tr> <td>ショートトラック</td> <td>：<u>2,730</u>人</td> </tr> <tr> <td>アイスホッケー</td> <td>：<u>5,220</u>人</td> </tr> <tr> <td>カーリング</td> <td>：<u>390</u>人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・一般利用は関西圏のプール・スケート兼用施設の中で最も多く、1日で<u>1,500</u>人以上が利用する日もある。</p>	フィギュア	： <u>12,900</u> 人	ショートトラック	： <u>2,730</u> 人	アイスホッケー	： <u>5,220</u> 人	カーリング	： <u>390</u> 人
フィギュア	： <u>7,815</u> 人																
ショートトラック	： <u>1,770</u> 人																
アイスホッケー	： <u>4,140</u> 人																
カーリング	： <u>150</u> 人																
フィギュア	： <u>12,900</u> 人																
ショートトラック	： <u>2,730</u> 人																
アイスホッケー	： <u>5,220</u> 人																
カーリング	： <u>390</u> 人																

改定案	現 行
<p>2－1. 再整備の方向性</p> <p>プール</p> <p>主要大会を開催できる<u>県下の拠点</u>として、全国級の大会誘致も目指し、<u>メインプール</u>は日本水泳連盟の公認基準(<u>国内プールAA</u>)を満たすものとし、一般利用・教室利用で制約が大きい通年プールについても、施設面での充実を図る。</p> <p>スケート</p> <p>大会会場及び県下のスケート選手の練習拠点としての機能を維持・確保するとともに、大規模イベントの誘致も目指し、公式サイズ(60m×30m)を満たす<u>リンクを設置し、用途に応じて、</u>子供から大人・初心者から競技者まで幅広く、安全にスケートに親しめる施設とする。</p>	<p>2－1. 再整備の方向性</p> <p>プール</p> <p>主要大会を開催できる<u>県下唯一の拠点</u>として、全国級の大会誘致も目指し、<u>メインプール・サブプール</u>は日本水泳連盟の公認基準(<u>国内一般プール・AA</u>)を満たすものとし、一般利用・教室利用で制約が大きい通年プールについても、施設面での充実を図る。</p> <p>スケート</p> <p>大会会場及び県下のスケート選手の練習拠点としての機能を維持・確保するとともに、大規模イベントの誘致も目指し、公式サイズ(60m×30m)を満たす<u>メインリンクとともに、サブリンクも設置し、</u>子供から大人・初心者から競技者まで幅広く、安全にスケートに親しめる施設とする。</p>
<p>2－2. 導入機能</p> <p>(1) プール機能</p> <p>[サブプールの記載を削除]</p> <p><u>②通年プール 25m・9レーン以上 (公認)・水深0～2m</u></p> <p>①、<u>②</u>は可動床等により、一般利用・競技利用の併用を可能とする。</p> <p>(2) スケートリンク機能</p> <p><u>スケートリンク (冬季) 60m×30m</u></p> <p>[サブリンクの記載を削除]</p>	<p>2－2. 導入機能</p> <p>(1) プール機能</p> <p><u>②サブプール (夏季) 25m・6レーン以上・水深2m以上</u></p> <p><u>③通年プール 25m・8レーン以上 (公認)</u></p> <p>①、<u>③</u>は可動床等により、一般利用・競技利用の併用を可能とする。</p> <p>(2) スケートリンク機能</p> <p><u>①メインリンク (冬季) 60m×30m</u></p> <p><u>②サブリンク (冬季) 18m×28m</u></p>

第2章 再整備の方向性・導入機能【続き】

※下線部が変更部分

改定案	現 行
<p>(4) 観客席</p> <p><u>仮設席を含めて 2,800 席以上 (ただし、仮設席は、プールサイド以外に計画し、競技の準備・待機にも使用できる段状スペースとして確保)</u></p>	<p>(4) 観客席</p> <p><u>固定席 3,000 席以上 (大規模イベントの開催を可能とするため、仮設席を含め 7,000 席を目指とする)</u></p>

第3章 施設整備計画

※下線部が変更部分

改定案	現 行
<p>3-1. 必要諸室・規模の設定</p> <p>メインフロア</p> <p>夏季</p> <p>① 50m室内温水プール（メインプール） [サブプールの記載を削除]</p> <p>冬季</p> <p>② <u>スケートリンク</u> [サブリンクの記載を削除]</p> <p>③以下について、サブプール（サブリンク）の削除に伴う番号ずれあり</p>	<p>3-1. 必要諸室・規模の設定</p> <p>メインフロア</p> <p>夏季</p> <p>① 50m室内温水プール（メインプール） ② <u>25m室内温水プール（サブプール）</u></p> <p>冬季</p> <p>③ <u>メインリンク</u> ④ <u>サブリンク</u></p>
<p>延床面積</p> <p><u>14,300 m²程度</u></p>	<p>延床面積</p> <p><u>14,000 m²程度</u></p>
<p>3-2. 平面・ゾーニング計画</p> <p>参考図の表現</p> <p>サブプール（サブリンク）の表示なし</p>	<p>3-2. 平面・ゾーニング計画</p> <p>参考図の表現</p> <p>サブプール（サブリンク）の表示あり</p>

改定案	現 行
<p>4－2. 本施設の事業手法</p> <p>本市におけるPFI導入の基本的な考え方や導入検討・実施手順などを取りまとめた「神戸市PFI指針」においても、事業費の総額が10億円以上の公共施設整備事業について、PPP/PFI手法を導入するための優先的検討を行うものとされている。</p> <p><u>本施設の整備については、PFI手法（BT</u> <u>O方式）を採用し、物価上昇局面での入札価格</u> <u>の高騰を抑えるため、維持管理・運営期間を令</u> <u>和5年度公募時から短縮し、概ね8年間とす</u> <u>る。</u></p> <p>4－3. 本施設の事業費</p> <p><u>（1）整備費</u></p> <p>本施設の整備に係る費用について、近年の類似施設の事例などを参考に試算した概算額は約257億円（令和7年9月時点）である。</p> <p>整備費については、今後、<u>物価上昇等を考慮し</u> <u>し、民間事業者へのサウンディングを実施する</u>など、精査を重ねていくものとする。</p> <p>（略）</p> <p><u>（2）維持管理・運営費</u></p> <p>本施設の維持管理・運営に係る費用について、<u>維持管理・運営期間を概ね8年間と想定し</u> <u>て試算した概算額は約22億円（令和7年9月</u> <u>時点）である。</u></p> <p>管理・運営者のノウハウを活かし、利用者へのサービス品質向上と管理・運営者の収入による<u>維持管理・運営費の削減の両立を図るため</u>、<u>今後、民間事業者へのサウンディングを実施する</u>など、精査を重ねていくものとする。</p>	<p>4－2. 本施設の事業手法</p> <p>本市におけるPFI導入の基本的な考え方や導入検討・実施手順などを取りまとめた「神戸市PFI指針」においても、事業費の総額が10億円以上の公共施設整備事業について、PPP/PFI手法を導入するための優先的検討を行うものとされていることから、<u>本施設の整備については、PFI手法（BT</u> <u>O方式）の採用を前提に、今後の検討を進めることとする。</u></p> <p>4－3. 本施設の整備費</p> <p>本施設の整備に係る費用について、近年の類似施設の事例などを参考に試算した概算額は約125億円である。</p> <p>整備費については、今後、<u>施設の運営等を含めて</u> <u>民間事業者へのサウンディングを実施する</u>など、精査を重ねていくものとする。</p> <p>（略）</p> <p><u>さらに、施設の維持管理・運営にかかるコスト（ランニングコスト）も課題となるため、管理・運営者のノウハウを活かし、利用者へのサービス品質向上と管理・運営者の収入による管理・運営費の削減の両立を図る。</u></p>

改定案	
4-4. 整備期間	
時期	内容
令和 <u>8</u> 年度	事業者募集資料の検討・作成、事業者募集
令和 <u>9</u> 年度	
令和 <u>10</u> 年度	事業実施（設計・施工・開業準備）
令和 <u>11</u> 年度	
令和 <u>12</u> 年度	
令和 <u>13</u> 年度	
令和 <u>14</u> 年度	供用開始

現 行	
4-4. 整備期間	
時期	内容
令和 <u>4</u> 年度	事業者募集資料の検討・作成、事業者募集
令和 <u>5</u> 年度	
令和 <u>6</u> 年度	事業実施（設計・施工・開業準備）
令和 <u>7</u> 年度	
令和 <u>8</u> 年度	
令和 <u>9</u> 年度	供用開始